（別紙１）

令和　７　年度　　　　　　災害時要支援者対策促進事業　　　　　　　　　　　　計画書

　　　　　災害時要支援者対策ステップアップ事業

事業実施主体（間接補助事業者）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（米子市社会福祉協議会）

|  |  |
| --- | --- |
| １　実施地区 |  |
| ２　実施体制 |  |
| ３　事業内容 |
| ４　事業の目標・期待される効果 |

本補助金以外の補助金の活用の有無　（　有　・　無　）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 補助金名 | 事業内容 | 交付団体 |
|  |  |  |
|  |  |  |

※他の補助金の活用の有無について、「有」、「無」のいずれかに○をしてください。

※「有」の場合は、活用する補助金名、事業内容、交付団体・部署名及び連絡先を記載してください。

※標題のいずれかの事業名に○をしてください。

（別紙１）

申請する事業に○印をしてください

記入例

令和　７　年度　　　　　　災害時要支援者対策促進事業　　　　　　　　　　　　　計画書

　　　　　災害時要支援者対策ステップアップ事業

事業実施主体（間接補助事業者）　　　　　　○○○○自治会　　　　　　　　　（米子市社会福祉協議会）

備品（避難に必要な物品等）を購入する場合は、**活用目的について記載**してください

|  |  |
| --- | --- |
| １　実施地区 | ○○○○自治会 |
| ２　実施体制 | 自治会、有志住民、民生児童委員、在宅福祉員、自主防関係者等　３０名 |
| ３　事業内容（１）　　災害発生時、住民が助け合って確実に避難できるよう、支え愛マップづくり**（○月頃）**を通して支援が必要な人の一人ひとりについてどんな支援が必要か確認しながら避難体制をつくる。マップ作成や避難訓練の実施について、**大まかな予定時期**をご記入ください（２）　　支援体制の確認のため、個別の避難支援を含めた避難訓練**（○月頃）**を実施する。（３）　　支え愛マップづくりを通じて、 災害時に限らず日常的に気配りの必要性があると判明した人には、在宅福祉員、民生児童委員等が定期的に声かけを行うなど、平時からの見守り体制について話し合う。（４）　　支え愛マップ作成を通じて、近所の人が困っていれば支え合うという意識の浸透を図る。（５）　　地域に住む足の不自由な人等を、円滑に避難させる上で必要となる備品を準備することで住民同士で避難支援を行う体制をつくる。 |
| ４　事業の目標・期待される効果地域が高齢化しており、 災害時の避難や日常生活が一人では難しくなっている人が身近にいることを住民全員で認識することが目標。地域の現状を共有し、 日ごろから近所同士で思いやり、困ったことを支え合う気運につなげたい。　　　　 |

**他補助金併用の有無**について○をつけて下さい

本補助金以外の補助金の活用の有無　（　有　・　無　）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 補助金名 | 事業内容 | 交付団体 |
|  |  |  |
|  |  |  |

※他の補助金の活用の有無について、「有」、「無」のいずれかに○をしてください。

※「有」の場合は、活用する補助金名、事業内容、交付団体・部署名及び連絡先を記載してください。

※標題のいずれかの事業名に○をしてください。